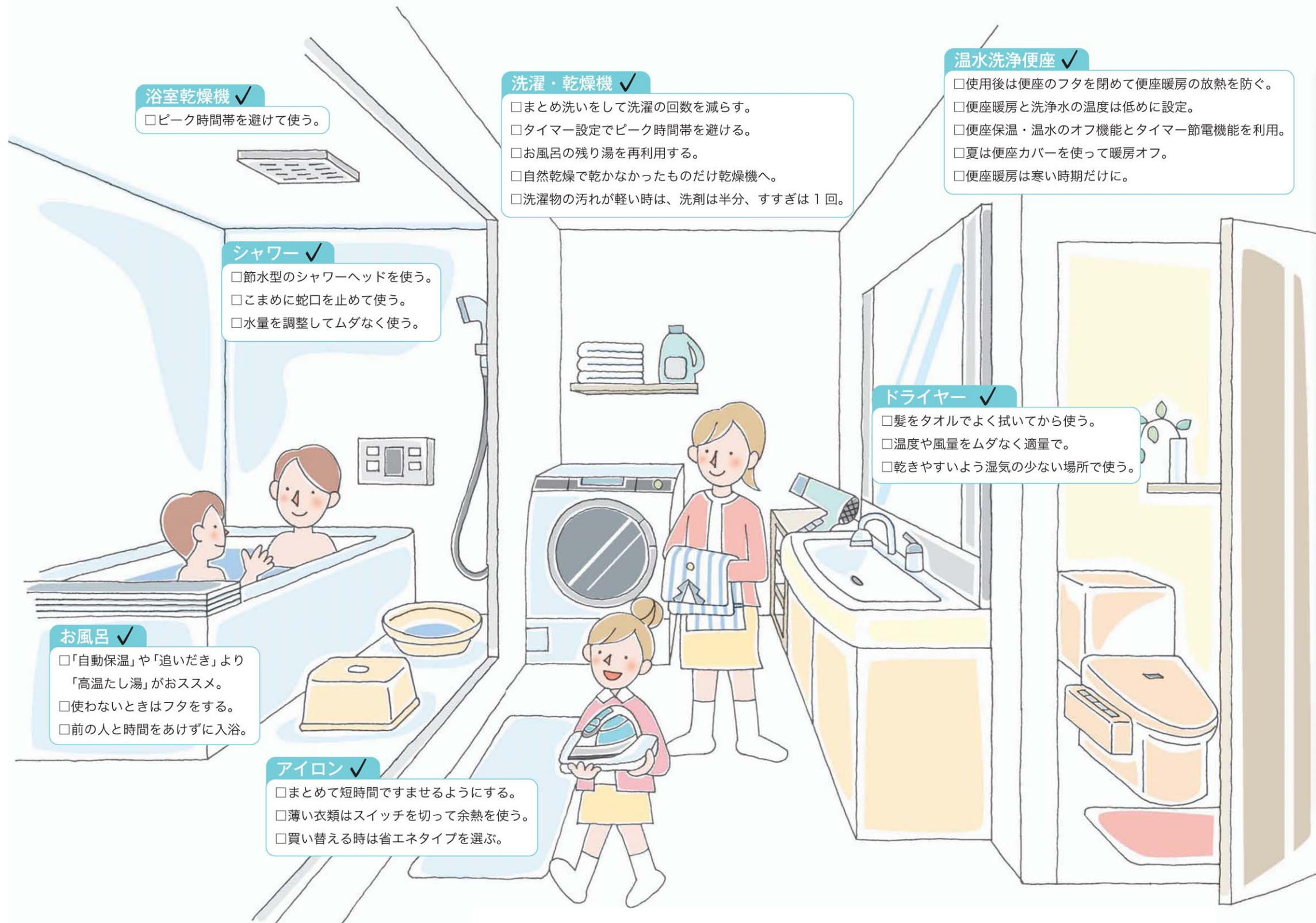


ゆったりくつろぎタイムも、こまめな工夫で見直しませんか。



温水洗浄便座の特徴で選ぶ。

温水洗浄便座には「貯湯式」と「瞬間式」の2種類があります。その特徴を知って製品選びや、省エネの参考にしましょう。

貯湯式

洗浄水用の貯湯タンクを、ヒーターで一定温度に保温しておくタイプです。瞬間的な電力は小さいですが、ヒーターに通電している時間が長く、消費電力は多くなります。また、連続して使用すると湯切れを起こす可能性があります。

瞬間式

洗浄水用の貯湯タンクを持たず、洗浄時にヒーターの表面に水を流すことでお湯にしながら吐水させるタイプです。洗浄中は湯切れの心配はありませんが、瞬間的な消費電力は大きくなります。

●「貯湯式」と「瞬間式」の節電機能を使用した場合の年間消費電力量比較

貯湯式	146～217kWh／年
瞬間式	62～163kWh／年

※年間消費電力とは、温水洗浄便座を家庭での平均的な方法で使用した時の1年間に消費する電力量です。
出典：環境省「しんきゅうさん」データベース